

(別添賃貸契約書の例)

## 肥料生産設備賃貸契約書

(以下甲という)と×××(以下乙という)は、下記条項に基づき、乙の肥料生産のための設備の賃貸に関し、契約を締結する。

### 記

(目的)

第1条 この契約は乙が肥料取締法に基づき、肥料の生産を行うために、甲の所有する生産設備(これに必要な付帯設備を含む、以下同じ)を賃貸することに関し、締結する。

(賃貸物件の範囲)

第2条 前条の賃貸物件は次のとおり

- 1 原料、製品置き場
- 2 粉砕、計量、造粒、乾燥、包装等生産設備一式
- 3 事務所(一部)

(賃貸期間)

第3条 本契約の有効期間は、平成 年 月 日から平成 年 月 日までとする。但し、甲乙いずれかにより別段の意思表示のない限り更に1年間自動延長され、以後同様とする。

(賃貸料)

第4条 賃貸料は甲乙協議の上別にこれを定めるものとする。

(賃貸物件の管理)

第5条 乙は借用した設備及び物件の保管、保全の責任を負うものとする。

(生産計画)

第6条 年度、月毎に生産計画を甲乙協議の上、策定する。

(製品等の管理区分)

第7条 両者は自己の所有あるいは占有する原料、製品等の所在を明確に区別し、且つ、場所毎に標識等をもってその旨を明示するものとする。

(生産の管理責任者)

第8条 乙は生産の管理責任者を定めるとともに、生産期間中は管理責任者を常駐させて生産管理に当たらせるものとする。

(契約の変更)

第9条 本契約は甲乙いずれかの申し出があった場合は協議の上変更することができる。

(契約の失効)

第10条 本契約は乙が生産を中止したとき、又は甲乙協議の上解約したときは失効する。

この契約を証するために、本契約書を2通作成し、甲、乙各1通を保管する。

平成 年 月 日

甲 住所  
氏名

乙 住所  
氏名

× × ×